ASAHI

電動プッシャー

EP40 型
EP80 型
EP100 型
EP150 型

取扱説明書

■ このたびは、電動プッシャーをお買い求め頂きまして誠に有難うございます。
取扱い、使用方法を誤りますと思わぬ事故を起こしたり、機器の寿命を縮めたり、性能を低下させることになりますので、ご使用前に必ずこの説明書をご熟読の上、正しくお取扱下さい。

■ この説明書は大切に保管してください。

■ この説明書は内容改善のために変更されることがあります。

旭精工株式会社

－目次－

１．はじめに　－－－－－－－－－２

２．安全にお使いいただくために　－－－－－－－－－２

３．使用上の注意点
　３．１　潤滑　－－－－－－－－－２
　３．２　使用温度範囲　－－－－－－－－－２
　３．３　使用不可による原因　－－－－－－－－－２
　３．４　その他　－－－－－－－－－２

４．各部のモジュール名称
　４．１　フランジ型　－－－－－－－－－３
　４．１　取付金具型　－－－－－－－－－３

５．すきま調整方法
　５．１　フランジ型　－－－－－－－－－４
　５．２　取付金具型　－－－－－－－－－４

６．モータ・ギヤヘッドの取付方法　－－－－－－－－－５

１．はじめに

電動プッシャーは、六角棒状のロッドを、上面と対応する二面を軸受けで支え、下面に設けられたラック・ピニオン機構で回転運動を直線運動に変え、ワークを押したり引いたりする事のできる標準ユニット部品です。

２．安全にお使いいただくために

この取扱説明書を熟読し正しくお使いください。そのあと大切に保管し、わからないときは再読して下さい。

あらゆる要素を適正な運転条件で保ってください。人身事故や機械の損傷を未然に防止するために「注意」には十分留意下さい。またご使用機械の安全性についてもチェックし、安全対策を講じてください。

動いている箇所に手、顔などを近づけないでください。

３．使用上の注意点

３．１　潤滑

電動プッシャーは、ロッド上面と対応する二面を軸受けで支える構造となっているため、ロッドには潤滑グリース等を塗布しなくても焼き付けを　起こさないという大きな特長を持っていますが、摩耗や騒音等を考慮した場合、潤滑グリース等を塗布した方がより効果的です。

３．２　使用温度範囲

電動プッシャーの使用温度範囲は、－１０℃～９０℃です。

３．３　使用不良になる原因

電動プッシャーが使用不良になる原因としては、

- 上記使用温度を超えた場合
- 使用環境、高速使用時などによる、内部ﾍﾞｱﾘﾝｸﾞｸﾞﾘｰｽ切れによる焼き付け、錆による磨耗などによる回転不良
- 振動、衝撃などによる軸受の外輪の割れ
- 軸受内のグリースの劣化
- 過大な衝撃によるピニオンギヤ及びロッドの破損

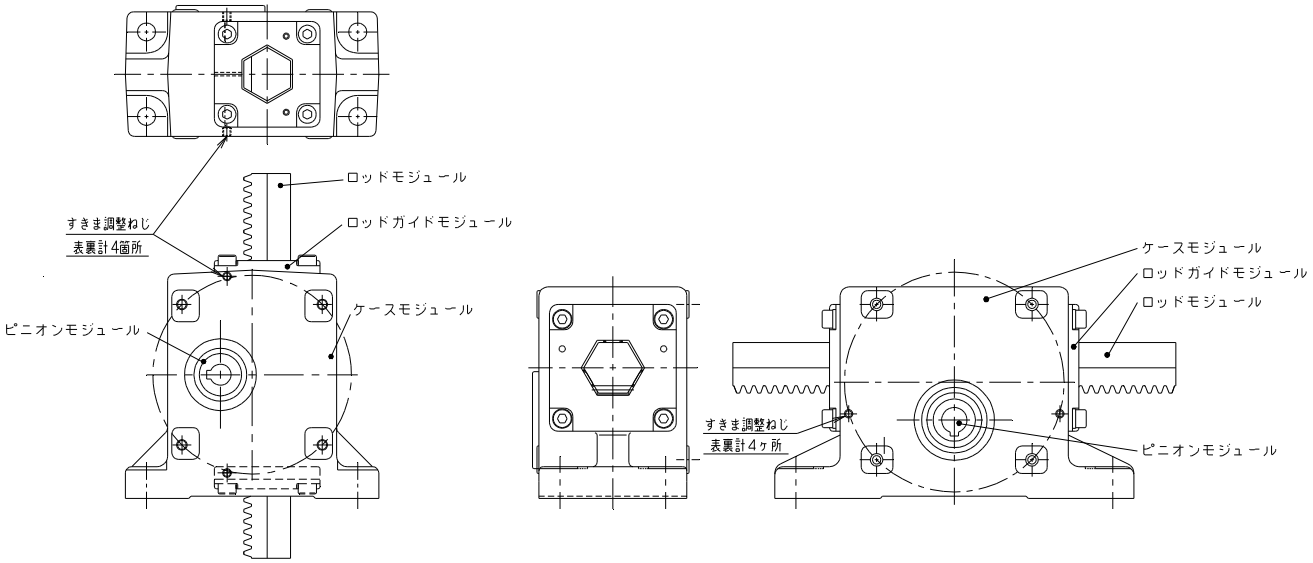
等があります。これらの中には、周辺の設計不良等に起因するものがありますのでご注意ください。

３．４　その他

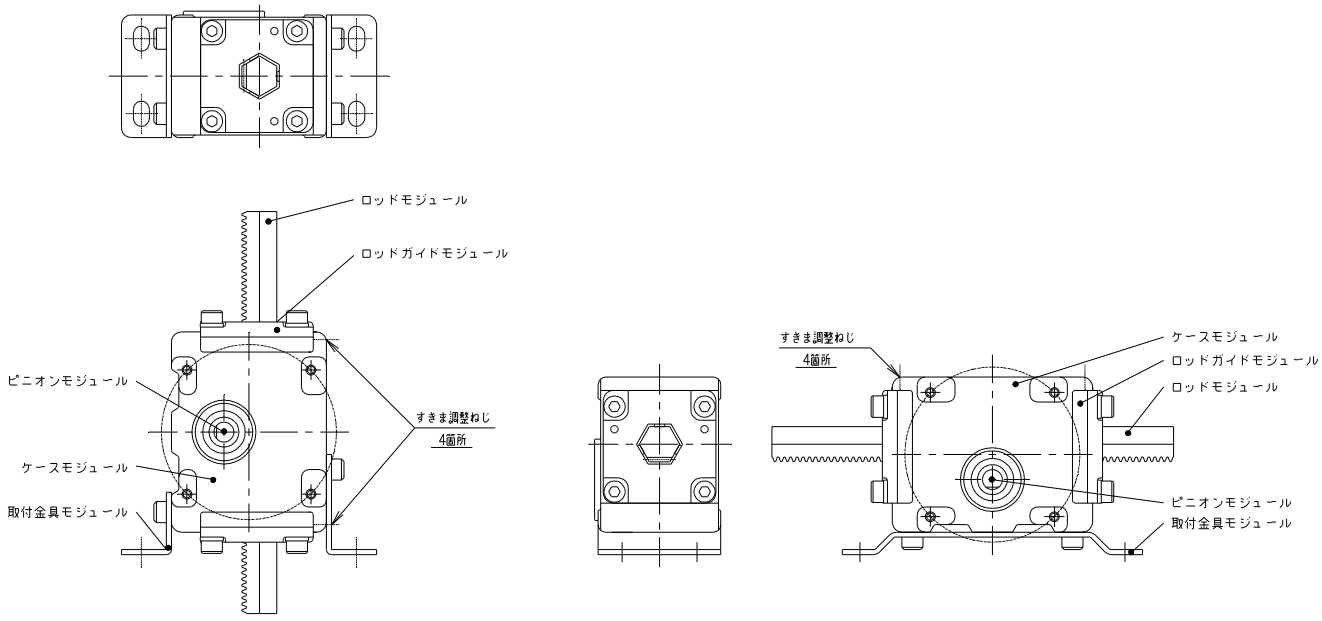
電動プッシャーの縦使いの場合は、ロッドが落下しないように、注意してください。また、縦使い時のモータ選定時にはブレーキ付きモータなどを選定し安全に努めてください。

４．各部のモジュール名称

４．１　フランジ型



４．２　取付金具型



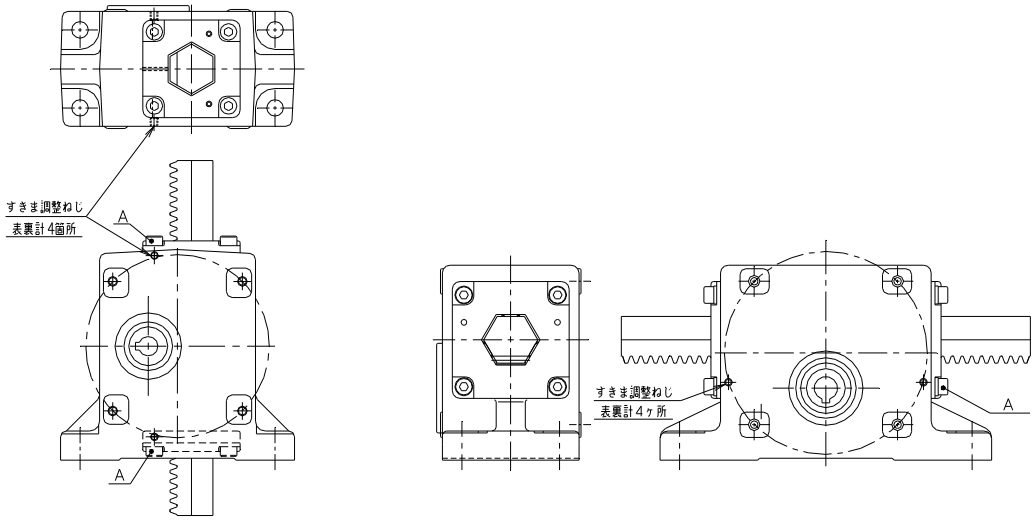
５．すきま調整方法

５．１　すきま調整方法　フランジ型

１．ロッドを挿入し、無負荷の状態で調整してください。

２．ロッドガイドモジュールを固定しているＡ部の六角穴付ボルトを
緩めてから、すきま調整ねじで本体とロッドのすきまを
調整してください。（４箇所均等に締める）
調整は、本体にロッドを挿入したときロッドの回転方向にガタのない状態に
調整してください。

３．すきま調整後、Ａ部の六角穴付ボルトを締めてください。



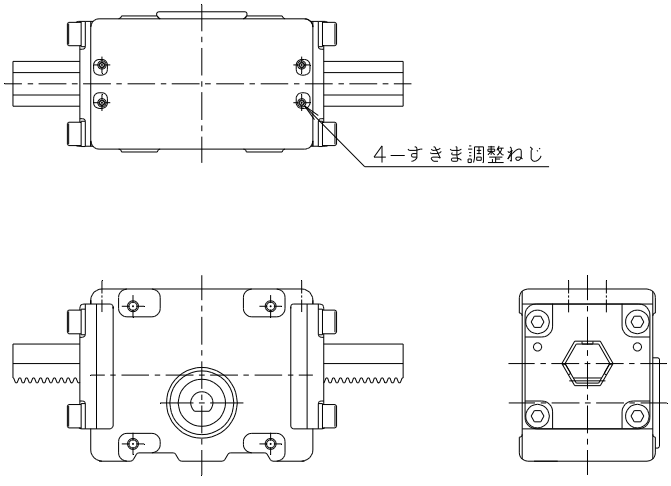
５．２　すきま調整方法　取付金具型

１．ロッドを挿入し、無負荷の状態で調整してください。

２．調整には二面幅 1.5mm の六角棒スパナを使用します。

３．すきま調整ねじ(M3 × 6)をまわし、すきま調整する。
（４箇所均等に締める）

４．調整は、本体にロッドを挿入したときロッドの回転方向にガタのない状態に
調整しています。



６．モータ・ギヤヘッドの取付方法

１．ブレーキ付モータ、または減速比の大きなギヤヘッドをご使用の場合は、
　　予めロッドを本体に挿入します。
２．出力軸をピニオンギヤのＤ穴、またはキー溝付穴に合わせて
　　ギヤヘッドを取り付ける。
３．モータ出力軸固定ねじｍを二面幅ｓの六角棒スパナで締め付ける。
　（ｍ、およびｓは表１を参照ください。）
４．電動プッシャー、モータ、及びギヤヘッドを固定する。
５．ゴムキャップを取り付ける。

本体呼び番号	ｍ	ｓ
ＥＰ４０	M4×4	2.0
ＥＰ８０	M5×5	2.5
ＥＰ１００	M5×5	2.5
ＥＰ１５０	M5×5	2.5

表１